

# 大会宣言

これからの日本の歴史を左右する重大な分かれ道ともいえる情勢の中で私たちは第 21 回定期大会を開催しました。

大会では 2 年間の全国各地の豊富な運動の経験・教訓が語られ、年金者組合の存在意義が再確認されました。

高齢者の厳しい生活実態を顧みない、2.5%の年金削減や、その後続く長期の年金削減、社会保障解体攻撃など断じて許すことはできません。私たちは、年金削減中止の運動を強めると共に、削減が実施された場合は、内外に広く訴え、組織の総力をあげて大規模な行政不服審査請求に取り組みます。

3000 万高齢者の生活を守るためには、年金者組合の拡大強化は欠かせません。何としても 20 万人年金者組合に向け総力をあげる時です。仲間づくり、まちづくりの総合 6 年計画をもち、日常的に拡大しながら、拡大月間ではさらに飛躍を追及し、目標達成のために力をつくします。

参議院選挙が間近に迫っています。アベノミクスで見せかけの「不況脱出」への期待の一方で、破綻の前兆も現れています。年金や消費税を初め、憲法、原発、TPP、歴史認識、女性の人権、オスプレイなど安倍内閣の暴走をストップさせるため、この政治戦に勝利しなければなりません。

仲間の団結を強めながら、地域のさまざまな団体・個人と手をつなぎ、現役世代と連帯し、要求運動と仲間づくりを発展させるため組織の総力を挙げて奮闘します。

以上宣言します。

2013 年 6 月 20 日